

教育課程等の概要(事前伺い)

(保健学研究科保健学専攻 博士前期課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
基礎保健学ユニット	ユニットコア	医療倫理学特論	1・2後	2												兼1	
		医療経済政策学特論	1・2後	2												兼2	
		基礎保健データ解析学	1・2前	2						2	1	1					
		ホリスティックケア特論	1・2後	2						1		1					e-learning
		小計(4科目)	-	0	8	0	-		3	1	2	0	0		兼3	-	
	看護学分野	看護教育論	1・2前	2						1						兼2	集中
		看護理論	1・2前	2						2		1					
		コンサルテーション論	1・2後	2						3							
		看護政策論	1・2前	2						1							集中
		看護研究方法論	1・2前	2						3		1					
		看護管理論	1・2前	2						1							
		基礎看護学特論	1・2前	2						1		2					
		基礎看護学演習	1・2後	2						1		2					
		基礎看護学特別研究	2通	10						2							
		看護管理学特論	1・2前	2						1							
		看護管理学演習	1・2後	2						1							
		看護管理学特別研究	2通	10						1							
		看護学特別セミナー	1・2前	2												兼7	オムニバス
		小計(13科目)	-	0	42	0	-		8	0	2	0	0		兼9	-	
	生体情報検査科学分野	分子情報分析科学特論	1・2前	2						3	2						
		分子情報分析科学演習	1・2後	2						3	2						
		分子情報分析科学特別研究	2通	10						1							
		分子情報分析科学特別研究	2通	10						1	1						
		分子情報分析科学特別研究	2通	10						1	1						
		生体情報検査科学特別セミナー	1・2前	2						11	4						オムニバス
		小計(6科目)	-	0	36	0	-		11	4	0	0	0		兼0	-	
	リハビリテーション学分野	病態障害解析学特論	1・2前	2						2							
		病態障害解析学演習	1・2後	2						2			1				
		機能評価回復学特論	1・2前	2						2	1						
		機能評価回復学演習	1・2後	2						2	1		1				
		基礎理学療法学特別研究	2通	10						2	1						
		作業活動分析学特論	1・2前	2						2							
		作業活動分析学演習	1・2後	2						2							
		作業機能評価学特論	1・2前	2						2							
作業機能評価学演習		1・2後	2						2								
基礎作業療法学特別研究		2通	10						2								
リハビリテーション学特別セミナー		1・2前	2						2						兼6	オムニバス	
	小計(11科目)	-	0	38	0	-		4	1	0	1	0		兼6	-		
合計(34科目)		-	0	124	0	-		26	6	4	1	0		兼18	-		
応用保健学ユニット	ユニットコア科目	生活習慣病特論	1・2前	2					5							オムニバス	
		がん病態機能学	1・2前	2					5							兼5	オムニバス
		先端医療特論	1・2後	2					1							兼2	
		臨床試験特論	1・2後	2					2							兼3	
		ウィメンズヘルス特論	1・2後	2					1							兼2	
		学外特別研修	1・2後	2					1								
		小計(6科目)	-	0	12	0	-		9	0	0	0	0		兼10	-	
	看護学分野	慢性看護学特論	1・2前	2						1	1	1					
		慢性看護学特論	1・2前	2						2		1					
		慢性看護学特論	1・2前	2						4	1	2					
		慢性看護学演習	1・2後	2						1		1					
		慢性看護学演習	1・2後	2						2		1					
		慢性看護学演習	1・2後	2						2		1					
慢性看護学演習		1・2後	2						2	1	1				兼2		
慢性看護学実習	1後	2						1		1							
慢性看護学実習	2前	2						1		1							
慢性看護学実習	2前	2						1		1							

教育課程等の概要(事前伺い)

(保健学研究科保健学専攻 博士後期課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通 科目 コア	医学哲学・倫理学セミナー	1・2通		2											兼1	医科学専攻開講 オムニバス	
	応用保健学セミナー	1・2通		2					11	4							
	地域・国際保健政策論	1・2後		2					1								兼2
	合計(3科目)	-	0	6	0	-	-	12	4	0	0	0	0	0	兼3	-	
看護学 領域	看護学研究概論	1前	2						5							オムニバス	
	小計(1科目)	-	2	0	0	-	-	5	0	0	0	0	0	0	兼0	-	
	基礎看護学 分野	基礎看護学特講	1・2前		2					2							
		基礎看護学演習	1・2後		2					2							
		看護管理学特講	1・2前		2					1							
		看護管理学演習	1・2後		2					1							
		基礎看護学特別研究	3通		4					2							
		小計(5科目)	-	0	12	0	-	-	7	0	0	0	0	0	0	兼0	-
	応用看護学 分野	慢性・がん看護学特講	1・2前		2					3							
		慢性・がん看護学演習	1・2後		2					3							
		精神看護学特講	1・2前		2					1							
		精神看護学演習	1・2後		2					1							
		母子看護学・助産学特講	1・2前		2					2							
		母子看護学・助産学演習	1・2後		2					2							
		応用看護学特別研究	3通		4					6							
	小計(7科目)	-	0	16	0	-	-	7	0	0	0	0	0	0	兼0	-	
	地域・国際看護学 分野	老年看護学特講	1・2前		2					1	1						
		老年看護学演習	1・2後		2					1	1						
		在宅看護学特講	1・2前		2					1							
		在宅看護学演習	1・2後		2					1							
		地域看護学特講	1・2前		2					1							
		地域看護学演習	1・2後		2					1							
		国際看護学特講	1・2前		2					1							
		国際看護学演習	1・2後		2					1							
地域健康推進学特講		1・2前		2					1								
地域健康推進学演習		1・2後		2					1								
地域・国際看護学特別研究		3通		4					5								
小計(11科目)	-	0	24	0	-	-	5	1	0	0	0	0	0	兼0	-		
合計(24科目)	-	2	52	0	-	-	15	1	0	0	0	0	0	兼0	-		
生体情報検査科学 領域	生体情報検査科学研究概論	1前	2						5							オムニバス	
	小計(1科目)	-	2	0	0	-	-	5	0	0	0	0	0	0	兼0	-	
	基礎生体情報 検査科学 分野	分子情報分析科学特講	1・2前		2					3	2						
		分子情報分析科学演習	1・2後		2					3	2						
		基礎情報科学特別研究	3通		4					3							
		小計(3科目)	-	0	8	0	-	-	5	2	0	0	0	0	0	兼0	-
	応用生体情報 検査科学 分野	機能情報解析科学特講	1・2前		2					2							
		機能情報解析科学演習	1・2後		2					2							
		組織・細胞情報解析科学特講	1・2前		2					3							
		組織・細胞情報解析科学演習	1・2後		2					3							
		応用情報科学特別研究	3通		4					5							
	小計(5科目)	-	0	12	0	-	-	5	0	0	0	0	0	0	兼0	-	
	生体情報検査科学 分野 地域・国際	生体防御学特講	1・2前		2					1							
		生体防御学演習	1・2後		2					1							
		地域・国際疫学特講	1・2前		2					2							兼2
地域・国際疫学演習		1・2後		2					2							兼2	
医療経済政策学特講		1・2前		2					2							兼2	
地域・国際情報科学特別研究		3通		4					3								
小計(6科目)	-	0	14	0	-	-	3	0	0	0	0	0	0	兼3	-		
合計(15科目)	-	2	34	0	-	-	11	2	0	0	0	0	0	兼3	-		

リハビリテーション学領域		リハビリテーション学研究概論	1前	2														オムニバス		
		小計(1科目)	-	2	0	0	-											兼0	-	
	基礎リハビリテーション学分野		基礎理学療法学特講	1・2前		2														
			基礎理学療法学演習	1・2後		2														
			基礎作業療法学特講	1・2前		2														
			基礎作業療法学演習	1・2後		2														
			基礎リハビリテーション学特別研究	3通		4														
		小計(5科目)	-	0	12	0	-												兼0	-
	応用リハビリテーション学分野		精神・脳機能障害リハビリテーション学特講	1・2前		2														
			精神・脳機能障害リハビリテーション学演習	1・2後		2														
			健康・スポーツ障害リハビリテーション学特講	1・2前		2														
			健康・スポーツ障害リハビリテーション学演習	1・2後		2														
			応用リハビリテーション学特別研究	3通		4														
		小計(5科目)	-	0	12	0	-												兼0	-
地域・国際リハビリテーション学分野		地域・国際リハビリテーション学特講	1・2前		2															
		地域・国際リハビリテーション学演習	1・2後		2															
		地域・国際リハビリテーション学特別研究	3通		4															
		小計(3科目)	-	0	8	0	-												兼0	-
	合計(14科目)	-	2	32	0	-													兼0	-
導入科目		高齢者疾患予防特講	1前		2															
		地域・国際保健学特講	1前		2															
		全人的医療学特講	1前		2															
	合計(3科目)	-	0	6	0	-													兼0	-
	総合計(69科目)	-	6	130	0	-													兼6	-

学位又は称号	修士（保健学）・博士（保健学）	学位又は学科の分野	保健学関係
設置の趣旨・必要性			
<p>設置の趣旨・必要性</p> <p>(1) 既存の大学院医学系研究科保健学専攻の状況</p> <p>本学では、平成8年度に医学部に保健学科が設置され2学科となった。平成13年度に大学院医学系研究科保健学専攻（修士課程）が、ついで平成15年度に保健学専攻博士（後期）課程が設置された。</p> <p>保健学専攻は、看護学、生体・環境保健情報科学及び理学・作業療法学の3分野からなり、大学院医学系研究科医科学専攻及び生命医科学専攻と協調して、がんプロフェッショナル養成プランなどの大学院研究、教育を行い、大学院医学系研究科高度専門医療人を養成している。</p> <p>(2) 大学院保健学研究科設置の背景</p> <p>ア 社会的背景</p> <p>少子高齢化社会となった我が国においては、社会構造や生活習慣の変化に伴い、疾病・障害構造が大きく変化し、介護問題をはじめ新たな社会的・経済的、保健医療の問題が多数生じてきているとともに、国民の要望も大きく変化かつ多様化し、健康志向が高まり、生活の質の向上や健康寿命の延長が求められている。また、我が国では医師、看護師を中心とした医療人の人材不足と、保健・医療の地域格差が顕著となっている。</p> <p>この状況に適切に対処するためには、医師の増員のみならず、保健学部門に属する看護師、保健師、助産師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士などの専門医療人の資質を高める必要がある。また、国際的にも、高度な指導的資質を有する専門的保健医療人の養成が必要である。さらに我が国においては、保健学高等教育に携わる教員の養成が急務である。このような社会的要請に応えるには、学部教育における各種の医療専門職の養成に加えて、大学院における教育・研究を充実させ、保健学各領域における専門的知識と技術を身に付けた高度な指導的人材の養成が必要である。</p> <p>イ 教育・研究的背景</p> <p>保健医療の更なる発展のためには、医師のみならず、看護師、保健師、助産師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士などの専門医療人も高度な専門的知識・技術を向上させる必要がある。さらに、全人的・包括的医療を実践するためには、各専門医療人が専門的知識・技術を持ち寄り、相互理解と連携の下に職務に当たる必要がある。以上の能力を有する高度専門医療人を養成するためには、大学院教育において、それぞれの保健医療分野における専門的知識・技術を高めるとともに、分野の枠を越えた横断的教育システムも必要不可欠となっている。また、専門看護師などの高度専門医療人の養成は、大学院に委ねられている。さらに、発展途上の学問である保健学の確立も求められており、そのためには、大学院における教育・研究の充実が必須である。</p> <p>ウ 保健学への要請</p> <p>以上述べてきた背景から、保健学には以下の2つが求められている。</p> <p>第一には、「全人的・包括的な保健学」である。研究面では、生活の質を高める基礎・応用にわたる保健学研究及び国際的保健学研究を行い、教育面では、全人的・包括的医療教育者をはじめ、課題対応型高度専門医療人及び国際的医療人材を養成する。第二には、「地域密着型保健学」である。研究面では、地域のニーズに応えた保健学研究及び大学発の地域共同研究を行い、教育面では、地域・大学連携型保健学の研究・教育者及び地域密着型高度専門医療人を養成する。</p> <p>(3) 保健学研究科設置と医学系研究科からの独立の必要性</p> <p>ア 保健学研究と医学研究</p> <p>保健学は、人類の幸福と社会福祉の向上に寄与する学問であり、人間を身体面のみならず、精神的、社会的、スピリチュアル的側面からも把握し、健康増進、疾病や障害の予防、療養生活支援、リハビリテーションを探求する全人的医療の学問である。よって、医学が病因の解明と疾病の診断・治療を主に探求するのに対して、保健学は、専門職医療技術の向上のみならず、保健・医療サービスの提供システム、保健人材活用システム、その運用ガバナンス等、包括的保健医療の保障を探求する点で大きく異なる。このために、医学は、個人を対象とし急性期を扱うのに対して、保健学は、個人とともに家族及び集団を対象とし、回復期、慢性期及び終末期も扱う。さらに、保健学の研究のシーズ(種)は、医学が主に病院や大学内にあるのと異なり、施設内に留まらず地域にもあることが特徴である。また、健康を追求する保健学は、地域のみならず、政治、経済、環境、さらに時代など</p>			

の変化による多様な要請に対応する流動性の高い学問である。常に社会の状況・要請を身近に感じ、また広い視野で解析できる能力が要求される実学である。こうした状況の変化により、保健学研究は社会的にも学問的にも医学研究と明確に区別されるようになった。

イ 国際的保健学研究・教育の現状

医学と保健学の探求分野は、国連ミレニアム開発目標（Millennium Development Goals, MDG）達成に向けた国際的取組の中で挙げられた疾患別アプローチと保健システム強化アプローチとして捉えることができる。例えば、国連ミレニアム開発目標ゴール6（MDG6）の「エイズの撲滅に対するエイズ病態の研究」は、疾患別アプローチとして健康改善に多大な貢献をした。これに対して、疾患別アプローチから得られた知識や薬剤を有効に活用するための人材や行政等のシステム向上へのアプローチが、保健システム強化アプローチである。WHOは、このアプローチを「サービスの提供」、「保健人材」、「情報」、「医療技術」、「資金」、そして「リーダーシップとガバナンス」の6要素として提唱した。保健学の研究・教育は、この保健システムの向上を目指すものである。こうした国際的背景から、保健学教育は、日本以外、欧米諸国は勿論のこと、東南アジア諸国においても、疾患別アプローチに主体を置く医学教育と明確に区別されてきた。本来、包括的な人間の健康という目標では、医学と保健学は一体化しているが、課題解決のための探求方法は、垂直アプローチ、水平アプローチと呼ばれてきたように別々に独立して発展してきた。MDGの達成が期待どおり進まない現状から、WHOやG8などで保健システム強化の声が国際的に高まる中、諸外国との国際交流・連携を図り、現代のニーズに則した保健学の研究・教育を推進するためには、医学教育と密接な連携を図りながらも、国際的調整や、海外への研究・教育成果の発信や共同研究を円滑に実施する上で、独立した方向性を持つ保健学教育システムを諸外国と同一にする必要がある。

このため、保健学研究科における博士前期課程の教育課程においては、WHOの提唱する保健システム強化アプローチの「サービスの提供」、「保健人材」、「情報」、「医療技術」に対応する基礎保健学、応用保健学、地域・国際保健学の3つのユニットを置くこととした。

ウ 保健学と医学における大学院教育

医学教育は、6年の学部教育と4年一貫制の博士課程により構成されている。一方、保健学教育は、4年の学部教育の上に、2年の博士前期課程及び3年の博士後期課程という区分制により構成されており全く異なっている。本学では、医学系研究科内に保健学、医科学及び生命医科学（独立専攻）の3専攻が設置されている。医科学専攻は、大学院部局化され大学院レベルの高度に整備された学問体系を有し、その研究・教育成果を学部教育に反映させる方式をとっている。一方、保健学専攻では学部にて依拠した教育研究分野がそのまま大学院の教育研究分野となっており、大学院レベルに求められる高度な専門性や学際性を確保する上で支障をきたしている。このため、今回の改組は大学院の教育研究内容を改革し、大学院レベルの高度な教育研究成果を、学部教育に反映させるという方式へ転換するものである。

さらに、高度な保健医療人材の養成を主体とする博士前期課程と、高度な研究者を養成する博士後期課程とを、矛盾なく総合的に運営するためには、4年一貫制で研究者養成を前提とする医科学専攻とは、別の組織で行うことが適当である。

以上の理由により、高度かつ実践的な保健学研究を推進し、先端的・独創的研究をさらに発展させ、世界をリードする保健学研究者や広い視野と応用力を有する指導的教育者及び高度な専門医療人を養成するため、保健学専攻を医学系研究科から分離独立し、教育研究の体制を大学院中心に転換し、教員組織を大講座制の教育研究組織に改めることにより、主として博士前期課程においては、分野横断的な教育研究を推進するとともに博士後期課程においても、幅広い視野を保持しつつ、高度な教育研究体制を構築することとしている。

教育課程編成の考え方・特色

(1) 保健学研究科の教育研究組織編成

新たに設置することとしている保健学研究科は、総合性、学際性を担保しつつ高度な保健医療人材を養成するとともに、高度な研究人材を養成することとしているため、以下のように構想するものである。

ア 博士前期課程の教育

保健学教育においては、医学系に限らない教育学、体育学、栄養学、社会情報学、工学、倫理学などの幅広い学問領域や、行政機関並びに国際機関との連携による人材養成が必要である。しかし、看護学、生体・環境保健情報科学、理学・作業療法学の3分野からなる現在の医学系研究科保健学専攻においては、分野を越えて研究課

題に系統的に対応するための体制が不十分なため、他分野との連携が必ずしも満足な状態とはいえ、保健学の分野を越えた横断的大学院教育体制の整備が必須である。このため、改組後の博士前期課程においては、保健学の領域横断的な研究内容から管理学や分子情報の解析、生体機能分析などの保健学の基礎的な分野を扱う「基礎保健学ユニット」、がん、慢性疾患、精神疾患や母性小児疾患のケア、生理や病理診断技術、あるいはスポーツや作業活動に対するリハビリテーションなど保健学研究の成果を疾患治療に応用する分野を扱う「応用保健学ユニット」、そして高齢化する地域の問題に対して、あるいは国際的な保健・医療の活動に基づいて本学の保健学専攻がこれまでに実績として積み上げてきた分野を扱う「地域・国際保健学ユニット」の3ユニットを置き、幅広い高度な知識と実践性を兼ね備えた人材を養成することとしている。学生は、各ユニットに属して領域横断的な全人的保健学を修学する。

イ 博士後期課程の教育

全人的保健医療を行うには、多職種間連携の中での自らの職種の役割における独自性を主張することは重要である。なぜなら、役割を持たない複数の人々の集まりでは、ただの寄せ集めで「構成メンバーが独自の役割を持ったチーム」にならないからである。この観点から、専門領域の独創的あるいは学際的な研究を深化させることが、多職種で連携して全人的医療を推し進めるためにも欠くことができないことから、改組後の博士後期課程においては、職種領域の専門性を高めるための深化した保健学研究を推進する教育を行う。学生は博士後期課程に置かれた職種専門領域の「看護学領域」、「生体情報検査科学領域」、「リハビリテーション学領域」のいずれかに所属しつつ、自己の専門分野を深化させることにより、質の高い保健学領域の研究人材を養成する。

また、博士後期課程の研究指導体制としては、個々の学生に対する指導教員の他に、幅広い学問的視野に基づく質の高い研究内容を確保するため、複数教員による指導体制を採用する。

上記の他、現行の博士前期課程からの進学者及び必要と認められる学生は、博士後期課程導入科目を6単位履修する。

修了要件及び履修方法	授業期間等	
1 修了要件	1 学年の学期区分	2 学期
(1) 博士前期課程	1 学期の授業期間	1 5 週
博士前期課程に2年以上在学して所定の単位(計30単位以上)を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格することとする。	1 時限の授業時間	9 0 分
(2) 博士後期課程		
博士後期課程に3年以上在学して所定の単位(計12単位以上)を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格することとする。		
2 履修方法		
(1) 博士前期課程		
必修科目及び選択科目を計30単位以上履修する。		
ア 必修		
(ア) 特論2単位、演習2単位、特別研究10単位を履修する。		
(イ) 主分野の特別セミナーを2単位履修する。		
イ 選択		
(ア) 所属するユニットのユニットコア科目を、4単位以上履修する。		
(イ) 所属するユニットの他分野の専門教育科目を4単位以上履修する。		
(ウ) 主分野の領域の専門教育科目を6単位以上履修する。		
(エ) ただし専門看護師コースでは、ユニットコア科目は2単位とし、他の選択科目は各専門看護師教育課程の指定する科目から選択する。		
(2) 博士後期課程		
必修科目及び選択科目を計12単位以上履修する。		
ア 必修		
(ア) 特講2単位、演習2単位、特別研究4単位を履修する。		
(イ) 所属する領域の研究概論を2単位履修する。		
イ 選択		
共通コア科目を2単位履修する。		

教育課程等の概要 (事前伺い)

(医学系研究科保健学専攻 博士前期課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通・コア科目	医療倫理学特論	1・2後		2											兼1		
	医療経済政策学特論	1・2後		2											兼2		
	加齢・老年学特論	1・2前		2					4	1					兼2		
	生活習慣病特論	1・2前		2					5							オムニバス	
	がん病態機能学	1・2前		2					5						兼5	オムニバス	
	応用保健統計学	1・2前		2					2								
	先端医療特論	1・2後		2					1						兼9		
	臨床試験特論	1・2後		2					2						兼5		
	地域保健医療研究概論	1・2前		2					10	5						オムニバス	
	国際協力・保健学特論	1・2通		2					1						兼2	集中	
	異文化コミュニケーション論	1・2通		2					1						兼2	集中	
	地域精神保健特論1	1・2通		2					1						兼1	e-learning	
	ホリスティックケア特論	1・2後		2					1		1				兼1	e-learning	
	ウイメンズヘルスト論	1・2後		2					1						兼3		
	応用英語	1・2通		1						1							
	応用英語	1・2通		1						1							
	学外特別研修	1・2後		1					1								
	保健学特別セミナー	1・2通		2					14	4					兼13		
合計 (18科目)		-	0	33	0	-	-	29	9	1	0	0	兼44	-			
看護学分野	基礎看護学領域	基礎看護学特論	1・2前		2				1		2				兼1		
		基礎看護学演習	1・2後		2				1		1						
		基礎看護学特別研究	2通		10				1								
		看護管理学特論	1・2前		2				1								
		看護管理学演習	1・2後		2				1								
		看護管理学特別研究	2通		10				1								
	小計 (6科目)		-	0	28	0	-	-	2	0	2	0	0	兼1	-		
	成人看護学領域	慢性看護学特論	1・2前		2					1	1	1					
		慢性看護学特論	1・2前		2					2		1				兼1	
		慢性看護学特論	1・2前		2					5		2				兼1	
		慢性看護学演習	1・2後		2					1		1					
		慢性看護学演習	1・2後		2					1	1	1					
		慢性看護学演習	1・2後		2					2		1				兼2	
		慢性看護学演習	1・2後		2					2	1	1				兼2	
慢性看護学実習		1後		2					1		1				兼2		
慢性看護学実習		2前		2					1		1						
慢性看護学実習		2前		2					1		1						
慢性看護学特別研究		2通		10					1								
がん看護学特論		1・2前		2					3			1			兼1		
がん看護学特論		1・2前		2					3			1			兼1		
がん看護理論		1・2前		2					4			1					
がん看護学演習		1・2後		2					2								
がん看護学演習		1・2後		2					2			1			兼3		
がん看護学演習		1・2後		2					2						兼7		
がん看護学演習 -1,2,3		1・2後		2					3			1			兼4		
がん看護学実習	1後		2					2			1			兼8			
がん看護学実習	2前		2					2			1			兼7			
がん看護学実習	2前		2					2			1			兼6			
がん看護学特別研究	2通		10					2									
小計 (22科目)		-	0	60	0	-	-	9	2	2	1	0	兼23	-			
老年・領域看護学	老年看護学特論	1・2前		2					2	1					兼1		
	老年看護学特論	1・2前		2					1	1					兼3		
	老年看護学特論	1・2前		2					2	1							
	老年看護学演習	1・2後		2					1	1							
	老年看護学演習	1・2後		2					2	2							
	老年看護学演習	1・2後		2					1	1					兼1		
	老年看護学演習	1・2後		2					2	1					兼2		

看護学分野	老年・精神看護学領域	老年看護学実習	2前	2				1	1						兼7	
		老年看護学実習	2前	2				1	1						兼2	
		老年看護学実習	2前	2				1	1						兼2	
		老年看護学特別研究	2通	10				1	1							
		精神看護学特論	1・2前	2				1								
		精神看護学演習	2後	2				1								
		精神看護学特別研究	2通	10				1								
		小計(14科目)	-	0	44	0	-	4	2	0	0	0	0	0	兼17	-
	母子看護学領域	母性看護学特論	1・2前	2				2		1						
		母性看護学演習	1・2後	2				2		1						
		母性看護学特別研究	2通	10				1								
		小児看護学特論	1・2前	2					1	1						
		小児看護学演習	1・2後	2					1	1						
		小児看護学特別研究	2通	10					1							
		小計(6科目)	-	0	28	0	-	2	1	2	0	0	0	0	兼0	-
地域・国際看護学領域	地域看護学特論	1・2前	2				1		1							
	地域看護学演習	1・2後	2				1		1							
	地域看護学特別研究	2通	10				1									
	在宅看護学特論	1・2前	2				1		1					兼1		
	在宅看護学演習	1・2後	2				1									
	在宅看護学特別研究	2通	10				1									
	国際看護学特論	1・2前	2				1									
	国際看護学演習	1・2後	2				1									
	国際看護学特別研究	2通	10				1									
	小計(9科目)	-	0	42	0	-	3	0	2	0	0	0	0	兼1	-	
看護学共通	看護教育論	1・2前	2				1							兼2	集中	
	看護管理論	1・2前	2				1									
	看護政策論	1・2前	2				1							兼1	集中	
	看護研究方法論	1・2前	2				4		2							
	看護理論	1・2前	2				2		1							
	コンサルテーション論	1・2後	2				6	1						兼1		
	小計(6科目)	-	0	12	0	-	11	1	2	0	0	0	0	兼4		
合計(63科目)			-	0	214	0	-	14	3	6	1	0	0	兼46	-	
生体・環境保健情報科学分野	分子情報学領域分析	分子情報分析科学特論	1・2前	2				2	2							
		分子情報分析科学演習	1・2後	2				2	2							
		分子情報分析科学特別研究	2通	10				1								
		分子情報分析科学特別研究	2通	10				1	2							
		小計(4科目)	-	0	24	0	-	2	2	0	0	0	0	0	兼0	-
	機能情報科学	機能情報解析学特論	1・2前	2				2								
		機能情報解析学演習	1・2後	2				2								
		機能情報解析学特別研究	2通	10				1								
		機能情報解析学特別研究	2通	10				1								
		小計(4科目)	-	0	24	0	-	2	0	0	0	0	0	0	兼0	-
	組織・細胞情報科学	組織情報解析学特論	1・2前	2				1	1							
		細胞情報解析学特論	1・2後	2				1	1							
		細胞情報解析学特論	1・2前	2				2								
		組織・細胞情報科学演習	1・2後	2				3							兼1	
		組織・細胞情報科学特別研究	2通	10				2								
		組織・細胞情報科学特別研究	2通	10				2								
		小計(6科目)	-	0	28	0	-	3	1	0	0	0	0	0	兼1	-
	環境保健情報科学領域	疫学特論	1・2前	2				1							兼2	
		疫学演習	1・2後	2				1							兼1	
		臨床試験演習	1・2後	2				3							兼3	
疫学特別研究		2通	10				1									
生体防御学特論		1・2前	2				1	1								
生体防御学演習		1・2後	2				1	1								
生体防御学特別研究		2通	10				1	1								
感染管理学特論		1・2後	2				2	1								
感染管理学演習(含病院研修)		1・2前	2				1							兼1	集中	
国際・地域公衆保健学特論		1・2前	2				1							兼1		
国際・地域公衆保健学演習		1・2後	2				1							兼3		
国際・地域公衆保健学特別研究		2通	10				1									
小計(12科目)	-	0	48	0	-	5	1	0	0	0	0	0	兼11	-		
合計(26科目)			-	0	124	0	-	10	4	0	0	0	0	兼12	-	

理学・作業療法学分野	基礎理学療法学領域	病態障害解析学特論	1・2後	2					5							
		病態障害解析学演習	1・2後	2					2	1						
		機能評価・回復学特論	1・2前	2					1	1						
		機能評価・回復学演習	1・2後	2					1	1						
		基礎理学療法学特別研究	2通	10					2	1						
		小計(5科目)	-	0	18	0	-		5	1	0	0	0	兼0	-	
	スポーツ障害学領域	運動器・スポーツ障害学特論	1・2前	2					2							
		運動器・スポーツ障害学演習	1・2後	2					2							
		運動器・スポーツ障害学特別研究	2通	10					2							
		小計(3科目)	-	0	14	0	-		2	0	0	0	0	兼0	-	
	地域理学療法学領域	地域理学療法学特論	1・2前	2					1	1						
		地域理学療法学演習	1・2後	2					1	1						
		地域理学療法学特別研究	2通	10					1	1						
		小計(3科目)	-	0	14	0	-		1	1	0	0	0	兼0	-	
	基礎作業療法学領域	作業活動分析学特論	1・2前	2						1						
		作業活動分析学演習	1・2後	2						1						
		作業障害評価学特論	1・2前	2					2							
		作業障害評価学演習	1・2後	2					2		1					
		基礎作業療法学特別研究	2通	10					2	1						
		小計(5科目)	-	0	18	0	-		2	1	1	0	0	兼0	-	
	心身障害作業療法学領域	作業障害回復学特論	1・2前	2					1							
作業障害回復学演習		1・2後	2					1								
地域作業療法学特論		1・2前	2					1								
地域作業療法学演習		1・2後	2					1		1						
心身障害作業療法学特別研究		2通	10					3								
小計(5科目)		-	0	18	0	-		3	0	1	0	0	兼0	-		
合計(21科目)		-	0	82	0	-		10	3	1	0	0	兼0	-		
学領域	応用保健	応用保健学特論	1・2前	2				3						兼1		
		応用保健学演習	1・2後	2				3						兼1		
		応用保健学特別研究	2通	10				3								
		合計(3科目)	-	0	14	0	-		3	0	0	0	0	兼2	-	
総合計(131科目)		-	0	467	0	-		36	12	7	1	0	兼97	-		

教育課程等の概要 (事前伺い)

(医学系研究科保健学専攻 博士後期課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	国際・地域保健政策論	1・2前		2											兼3	集中 オムニバス 医科学 専攻開 講科目
	保健学特別総合セミナー	1・2通		2					18	7					兼22	
	医学哲学・倫理学セミナー	1・2通		2											兼1	
	合計(3科目)	-	0	6	0	-	-	-	18	7	0	0	0	0	兼26	
専門科目	看護学分野	基礎看護学特講	1・2前	2					1							
		基礎看護学演習	1・2後	2					1							
		看護管理学特講	1・2前	2					1							
		看護管理学演習	1・2後	2					1							
		基礎看護学特別研究	3通	4					2							
		成人看護学特講	1・2前	2					3							
		成人看護学演習	1・2後	2					3							
		老年看護学特講	1・2前	2					1	1						
		老年看護学演習	1・2後	2					1	1						
		精神看護学特講	1・2前	2					1							
		精神看護学演習	1・2後	2					1							
		母子看護学特講	1・2前	2					1							
		母子看護学演習	1・2後	2					1							
		臨床看護学特別研究	3通	4					6							
		地域看護学特講	1・2前	2					1							
		地域看護学演習	1・2後	2					1							
		在宅看護学特講	1・2前	2					1							
		在宅看護学演習	1・2後	2					1							
		国際看護学特講	1・2前	2					1							
		国際看護学演習	1・2後	2					1							
		地域・国際看護学特別研究	3通	4					3							
小計(21科目)	-	0	48	0	-	-	-	11	1	0	0	0	0	兼0	-	
専門科目	生体・環境保健情報科学分野	分子情報分析科学特講	1・2前	2					2	2						
		分子情報分析科学演習	1・2後	2					2	2						
		組織・細胞情報解析科学特講	1・2前	2					5							
		組織・細胞情報解析科学演習	1・2後	2					5							
		機能情報解析科学特講	1・2前	2					2							
		機能情報解析科学演習	1・2後	2					2							
		生体情報科学特別研究	3通	4					9							
		分子情報分析科学特講	1・2前	2					2	2						
		分子情報分析科学演習	1・2後	2					2	2						
		組織・細胞情報解析科学特講	1・2前	2					5							
		組織・細胞情報解析科学演習	1・2後	2					5							
		機能情報解析科学特講	1・2前	2					2							
		機能情報解析科学演習	1・2後	2					2							
		生体情報科学特別研究	3通	4					9							
		国際・地域感染症解析科学特講	1・2前	2					1							兼2
		国際・地域感染症解析科学演習	1・2後	2					1							兼1
		生体防御学特講	1・2前	2					1							
		生体防御学演習	1・2後	2					1							
		疫学・保健情報科学特講	1・2前	2					2							
疫学・保健情報科学演習	1・2後	2					2									
医療経済政策学特講	1・2前	2												兼2		
国際・地域公衆保健科学特別研究	3通	4					4							集中		
小計(15科目)	-	0	34	0	-	-	-	13	2	0	0	0	0	兼4	-	

専門科目	基礎理学療法学特講	1・2前		2					4	1						
	基礎理学療法学演習	1・2後		2					4	1						
	基礎作業療法学特講	1・2前		2					3	1						
	基礎作業療法学演習	1・2後		2					3	1						
	基礎理学・作業療法学特別研究	3通		4					6							
	地域・健康・スポーツ障害リハビリテーション学特講	1・2前		2					3	1						
	地域・健康・スポーツ障害リハビリテーション学演習	1・2後		2					3	1						
	脳機能障害リハビリテーション学特講	1・2前		2					2							
	脳機能障害リハビリテーション学演習	1・2後		2					2							
	精神障害リハビリテーション学特講	1・2前		2					2							
	精神障害リハビリテーション学演習	1・2後		2					2							
	臨床理学・作業療法学特別研究	3通		4					4							
	小計(12科目)		-	0	28	0	-		10	3	0	0	0	兼0	-	
	合計(48科目)		-	0	110	0	-		34	6	0	0	0	兼4	-	
総合計(51科目)		-	0	116	0	-		34	12	0	0	0	兼30	-		